



E G G P L A N T

エッグプラント
那須ファミリー
ホームスクール通信
2006.2.1
No.19



真良樹撮影。リゲル

子どもたちは、昨年に引き続き、理科キャンプに参加しました。

近代科学はヨーロッパから生じましたが、そこに多くのクリスチャンが関わっていたことはあまり知られていません。反対に、科学と聖書は矛盾すると思われている人が多いのです。ガリレオの宗教裁判が強烈なイメージを与えていると思われませんが、あれは聖書対科学というよりも、聖書を正しく読んでいない宗教組織対科学なのです。実際には、ニュートン、ケプラーも熱心なクリスチャンで、創造主を信じていました。

「理科」を学ぶ目的の一つは、この世界にあるものを観察したり、その仕組みを学んだ

りして、私たちの生活に生かしていくということでしょう。科学者たちは、この世界に法則・

原理があることを見出しました。また、それらを用いることによって、科学技術は大いに発展したのです。同様に、この世界には、道徳的、霊的**原則**があると聖書は語ります。その原則に従って歩むときに、人間社会は秩序を保ち、発展します。ところが、現代の日本では、この原理・原則を無視しています。科学の世界で**原理・法則**を無視すると、事故やトラブルを生じるように、**霊的・道徳的な原理を無視**した

ことよって、手痛いしっぺ返しを受けているということです。

今の人間を「罪を犯している」状態と聖書は表現します。聖書が語る「罪」というのは、**逮捕されるような犯罪**だけではなく、「**創造主が与えた原理・原則からはずれている**」ことを含みます。

りかキャンプ

りかキャンプ

M

一月十六日から十九日までりかキャンプに行ってきました。天文学だけではなく生物学も体験でき、もちつきをしたり、サッカーをしたりしてまた去年とはひと味違うキャンプでした。

僕は今年のキャンプで、津山科学教育博物館に行けたこと、自分で小型天体望遠鏡を使い土星の輪やすばるを見られたことが、思い出になりました。

津山科学教育博物館は一言で言うところにかくすごかったです。ここではもともと一人の収集家が集めた標本を陳列しているのですが、なんと十二万六千点もの展示物を展示している、圧倒されるばかりでした。中にはその収集家の遺言でその人の臓器も陳列していて初めて本物の臓器を見ました。ここでしか見られない標本もありました。

特に良かったのは世界の動物の標本が多かったので実際の大きさが体感することもできて、とてもかいアザラシとホッキョクグマに遭遇し、実際に触れることのできるコーナーがあり、ホッキョクグマの毛並みもわかりました。昼から行ったのですが、一日中いたい気分でした。

またキャンプの期間では小型望遠鏡が自由に使えて、観望会が終わるとロッジの前でいつでも星を見られました。特に先生に教えてもらって、土星や火星などいろいろな星が見ることができました。夜の観望会では直径二mの天体望遠鏡「なゆた」で、やさしい研究員さんがいろいろ教えてくれてよく分かりました。そして特別に研究室も見せてもらいました。パソコンなどの機械がたくさん置いてあり、机には難しいプリントが置いていて、なにを書いているのか全然分かりませんでした。いろいろ事が体験でき、充実した四日間でした。

「こんなことしました！」 行事報告

一月

三日 古市のおじいちゃん宅へ(たこあげ)

六日 ムーブ21・なにわの海の時空館

八日 日曜学校(普遊び大会)

九日 新春合同学び会(中央公会堂)

十二日 R 六歳誕生日

十六日~十九日 りかキャンプ

(兵庫県立西はりま天文台)

二十二日 空手の寒げいこ(長居公園・研心館)

二十八日 科学で遊ぼう(生涯学習講座四回目)

大阪感動探検隊(大阪「食」探検隊)

山の妖精コーナー

「せかいあちこちゆかいな家めぐり」

こまつよしおさんはせかいじゅうの家のしゃしんをとっています。おもしろい家があるところならどこでも、ひこうきのり、車やバス、小ぶねをのりついで、たずねて行きます。この本はせかいの十二の家をしようかいしています。ぼくは、インドネシアのスバンとうにあるとんがりやねの家にすんでみたいです。なぜなら、その家の形がおそらくいからです。

ほかの家もあります。やねに目のある家、じめんの下にある家、ぼうしをかぶったおしやれな家、えんとつでいきをする家、土でつくられた家、やねがさかさまの家、どんぐり形の家、みんなでわになってくらす家、大草原の白い家があります。ぜひ読んでください。



理科キャンプに参加したメンバー

たこの救い

正月恒例、古市でのたこあげ。今年は上空の風が不安定で、突然たこ落下。屋根にひっかかってあきらめてみると、見ず知らずのお兄ちゃん登場。はしごを探して持つてきて屋根によじ登って、たこ救出。現代の若者、見直す。思わず一緒に写真撮影。



M撮影。望遠鏡を使って観察した月



満天の星

H

「本物ってすごい！」本当にそう思いました。なゆた望遠鏡で観る火星、ウサギ座、リゲル、ベテルギウス、土星、オリオン大星雲、月。どれもはっきりと見え一つ一つの大きさ、形、色、輝きが違います。

満天の星空が見えた日。私とお兄ちゃんは小型望遠鏡で夜空を見ていました。小型望遠鏡は、自分で操作し、自分が見たい星を見られるのでとても良かったし、良い経験でした。私はこんな星を造られた神様はすごいなあ、と思いました。そしてお母さんに

『あなたはすばる座の鎖を結びつけることができるか。オリオン座の綱を解くことができるか。あなたは十二宮をその時々にしたがって引き出すことができるか。おうし座をその子の星とともに導くことができるか。あなたは天の法令を知っているか。』

その後、なゆた望遠鏡でも星や惑星を見ました。土星の輪もはっきりと見えました。

曇っていた日もありましたが、そのときは、研究員さんが望遠鏡の説明をしてくれて、特別に直径二mもある鏡を見せてもらいました。すごく大きかったです。

他に私たち兄弟は惑星の色について調べていこうと思いい研究員さんに教えて頂きながらこれから学んでいこうと思っています。

りかキャンプで天体について興味をもち、これからも続けて調べていきたいです。

編集後記

これから、家族の誕生日が続きます。一〇〇円ショップで買ったプレゼントが飛び交ったり、「手紙が一番うれしい」という子もいたり。パーティの料理希望もさまざま。チキン、手巻き寿司、焼肉、梅干まで...個性だな。